



# 住北通信

第10号 発行日 R元. 7. 19

発行者 校長 松下 佳司

大東市立住道北小学校

TEL 872-7788 FAX 872-7789

## 1学期終業式を迎えて

いよいよ1学期が終わり、37日間の長い夏休みに入ります。保護者の皆様には、この1学期間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

また、大きな事故もなく、安全に登下校ができましたのも、雨の日も、風の日も、暑い日も、毎朝の**集団登校指導（旗当番）**にご協力いただいた**保護者の皆様**、そして、**毎週火・木曜日**の下校時の**見守り活動**にご協力いただいた**地域の皆様**のおかげです。さらに、**PTA役員・実行委員・各委員の皆様**には、**交通安全指導**及び**街頭指導、見守り活動**にもご協力いただき、本当にありがとうございました。

さて、**終業式**では、今年の3月にプロ野球選手として現役を引退された**イチロー**選手の名言の中から一つ選び、次のようなお話をしました。

さて、今年の3月に、プロ野球選手として現役を引退したイチロー選手が残した言葉を改めて読み直していると、次のような言葉に、頭と心が反応しました。紹介しますね。

「バットの木は、自然が何十年もかけて育てています。僕のバットは、この自然の木から手作りで作られています。グローブも手作りの製品で、一度バットを投げた時、非常に嫌な気持ちになりました。自然を大切にし、作ってくれた人の気持ちを考えて、僕はバットを投げることも、地面にたたきつけることもしません。プロとして道具を大事に扱うのは当然のことです。」

という言葉です。

そこで、校長先生は、イチロー選手がどのようなバットを使っていたのか、誰が作っていたのか、調べてみたくなりました。

イチロー選手のバットは、北海道産の**アオダモ**と呼ばれる木が使われていて、球を打ったときに独特のしなりがあり、打球が伸びるそうです。ただし、自然に育った木なので、100本に約1本の割合でしか材料にはならないそうです。

多くの打者は、年齢や経験でバットの形やバランスを調整しますが、イチロー選手は、**鈴木一朗**と、本名でプレーしていた**無名時代**からずっと同じバット（長さ85cm、ヘッド直径60.5mm、グリップ直径24mm）を使い、また、使い続けられるように体を鍛え、練習を重ねたそうです。

最後にイチロー選手のバットを作り続けた名人とは、**久保田 五十一**（くぼた いそかず）さんという方です。（「五十一」を示し）名前は、このような漢字が使われています。何か気づきませんか。イチロー選手の背番号は「51」。すごい出会いですね。

校長先生は、「イチロー選手は、どのようなバットを使っていたのか、どのような人が作っていたのか」という「**はてな**」が頭に浮かび、少し調べてみました。バットについて、少し調べるだけでも、興味深い事実に出会えました。「バットの材料になる木は、アオダモ以外にあるのか」、「イチロー選手は、どのようなグローブを使っていたのか、誰が作っていたのか」、「そもそもグローブの材料になる革は、何の革か」など、「**はてな**」は広がりますね。

たくさん自分の時間が持てる夏休み、まずは「**はてな**」探しから初め、自由に調べたり、研究したりしてみませんか。素敵な学びがいっぱい集まることを楽しみに待っています。

夏休みの宿題の中には、**作文**や**読書感想文**、**図画工作**や**書道**等の作品づくりや**自由研究**という課題があります。それらの中には、**コンクール**形式のものがありますので、保護者の皆様もご確認いただき、積極的に**チャレンジ**するよう励ましてあげてください。子どもたちにとって、安全で、素敵な夏休みになることを心から願っております。

# めざすべき道標

本校の学校教育計画（付防災計画）には、従前より、「住北小教師の信条」として、本校教員がめざす教師像を掲載しておりましたが、今年度当初、改めて以下のように「めざすべき教師像」として整理し直しました。まだまだ未熟な点が多々ございますが、これらの教育信条を胸に同じ方向に向かって、気持ちを揃えながら、2学期も教育活動の充実に努めてまいります。

## めざすべき教師像

住道北小学校

### 1. 教職に対する強い情熱、教育の専門家としての確かな力量

教師の仕事に対する使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任感などである。また、教師は、変化の著しい社会や学校、子どもたちに適切に対応するため、常に学び続ける向上心を持つことが大切である。そして、「教師は授業で勝負する」と言われるように、この力量が「教育のプロ」のプロたる所以である。この力量は、具体的には子ども理解力、生活指導力、集団指導の力、学級づくりの力、学習指導・授業づくりの力、教材解釈の力などからなるものと言える。

○教師としての使命を自覚し、サービスの厳正を期し、保護者の信託に応え得る教師になろう。

全体の奉仕者

○教育の不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展はない。教育において、いつまでも変わらないことを大切にしながら時代に応じた変化に対応できる教師になろう。

不易流行

○常に教育の具体的事実を目を向けて研修を怠らず、地道な教育実践に取り組む教師になろう。

専門職の自覚

○授業は教師の命である。学習指導法の改善に努め、日々の実践に温かい血のかような指導をする教師になろう。

自己研鑽・切磋琢磨

○指導力は徹底力である。あたり前に身につけさせたいことを根気強く指導する教師になろう。

凡事徹底

### 2. 総合的な人間力「教育は人なり」

教師は教師である前に、子どもたちの人格形成に関わる一人の人間として、豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法をはじめ対人関係能力、コミュニケーション能力などの人格的資質を備えていることが求められる。また、教師は、他の教師や事務職員、栄養職員など、教職員全体と同僚として協力していくことが大切である。

○常に健康に留意し、心身ともにはつらつと活気に溢れる教師になろう。

健体康心

○明朗で快活、喜びも悲しみも子どもとともに親身になって考える教師になろう。

和顔愛語

○常に子どもの先頭に立ち、模範を示す教師、そして、子どもとともに学び合い、励まし合う教師になろう。

率先垂範・師弟同行

○教職員が互いに人間関係を深め、謙虚で信頼し合える教師になろう。

協同和親